

SDGsと榴岡図書館

展示

榴岡図書館の入り口付近では、毎月テーマを決めて展示をしています。児童書（子ども向けの本）の展示コーナーでは、今年度の年間テーマを「未来の道しるべ」として、1年間を通してSDGsに関する展示をしています。今後も「海と森林をまもろうよ」や「いろいろかぞく」など、SDGsの17項目に合わせた展示をする予定です。

(写真上は、令和2年3月～5月の展示「はじめてのSDGs」)

テーマ展示とは別に、一般書（大人向けの本）では辞書・辞典の棚の上に、SDGsのコーナーを設け、17項目に合わせた展示をしています。

(写真下)

SDGsのコーナー以外にも関連書がありますので、ぜひ榴岡図書館にご来館ください。



アンケート

榴岡図書館では、SDGsに関するさまざまなアンケートを皆さまにお願いしております。

第一弾は「SDGs知っている／知らない」(写真上)、第二段は「あなたの目標はどれ？(17項目から達成したいものを選ぶ)」

(写真下)を行いました。アンケートの結果は、随時SDGsのコーナーに掲示しています。

皆さまがSDGsに興味を持って、行動に移すことでどんどん未来が変わっていきます。よりよい未来に向けて、ぜひ図書館の資料を活用ください。



仙台市図書館のTwitterでは、榴岡図書館をはじめ、仙台市図書館に関するイベントや、展示の情報などをつぶやいています。気軽にフォローしてください。



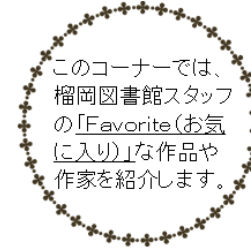
発行：仙台市榴岡図書館

〒983-0852 仙台市宮城野区榴岡 4-1-8 パルシティ仙台 4F ☎295-0880



榴岡図書館だより

第 17 号
令和2年9月1日



My Favorite Book

「ひみつのかんかん」

「これはどうしてわたしがひいおばあちゃんのひみつをしったかっていうおはなし。」という一文から始まるこの絵本。なんだかちょっとわくわくしませんか？

主人公「わたし」のひいおばあちゃんは、とってお茶目で優しいおばあちゃんです。

今となっては大の仲良しですが、初め2人はあまり仲良くありませんでした。そんな2人が仲良くなるきっかけは、一粒の青いビー玉です。

このビー玉は、ひいおばあちゃんのお部屋の赤い小さな花柄のかんかんに入っている、ひいおばあちゃんにとって大切な宝物のひとつです。

かんかんの中には他にも、ひいおばあちゃんが赤ちゃんだった頃の家族写真、ひいおばあちゃんのお父さんのめがね、よそゆきの晴れ着が入っていた和筆筒の取手など、ひいおばあちゃんの宝物がぎっしり。宝物の1つ1つに思い出もぎっしり。

そして宝物のビー玉には、ひいおばあちゃんのお話の秘密が隠されていました。

というような読んだ後、気持ちが優しくなるようなお話なのですが、この絵本を読んで私が一番に思ったことは、世の中のおばあちゃんのお部屋には、ひみつのかんかん的なものが必ずといって良いくらいあるんだなと思いました。

さて、我が家にも今年90歳になる祖母がいます。

そして、もちろんちゃんとあります。ひみつのかんかん。

絵本に出てくるかんかんと違って、うちの祖母のかんかんの中身は、お菓子のみです。

私とお茶っこを飲んでいると、そそくさと自分のお部屋へ行き、戻ってくると手にはちょっと良いお菓子が。

そのお菓子を食べながら、2人でテレビを観たりお話をしたりする時間が私はとても好きです。

甥っ子が遊びに来たときは、「ちょっとこっちおいで」と自分のお部屋へ呼び、パタンと扉が閉まります。

少しして、戻ってきた甥っ子の口はもぐもぐ、顔はにこにこ。祖母もにこにこ。

甥っ子もこの「ちょっとこっちおいで」がとても好きだと思います。

みなさんのおばあちゃんのお家やお部屋にもありませんか？ひみつのかんかん。



「ひみつのかんかん」
作：花山かずみ 2014年 偕成社